

生活のちよつとした困りごとを地域の力で解決へ

田原市生活ささえあいネットワーク

今回も実際にサポーターとして活動されている方にお話しをお聞きしました。



【野中博夫さん】  
(神戸町)

Q これまでどのような支援をしましたか？

A 居室やベランダの清掃、すだれの修繕など、これまで2回支援を行ってきました。

Q 実際に支援に行っていましたか？

A 長年、企業ボランティアとして、家具転倒防止器具の取付けなどを行っていましたが、生活ささえあいネットワークは身近な生活の困りごとに対応するので、様々な人との出会いがあり、楽しみながらやっています。活動中に家主さんと交わす会話の中で、多くの学びを得られますね。

Q 受け取った地域通貨はどう使いますか？

A 今後ボランティア活動で使用するものを、協力店舗で購入しようと思っています。

Q 最後に一言お願いします。

A これからもボランティア活動を続けていきたいと思っています。この生活ささえあいネットワークがもっと広がって、参加する人がふえるといいですね。

生活ささえあいネットワーク各登録数

支援依頼者…59人  
サポーター…75人  
協力店舗…24事業所29店舗  
初回コーディネート件数…34件



支援の様子 (ベランダの清掃)

地域通貨「菜」の流れ



問合せ

田原市社会福祉協議会  
☎ 23局0610

平成27年度防災ボランティアコーディネート養成講座を開催しました

阪神大震災をきっかけに、ボランティアによる救援活動の効果が大きく認められ、全国各地で防災ボランティアコーディネーターの養成が進められています。その役割は、大規模災害が起こった時に全国から駆けつけてくるボランティアを円滑に受け入れ、救援活動を迅速かつ効率的に導くことです。『被災者とボランティアの架け橋』とも言われています。

今年度の田原市防災ボランティア

コーディネーター養成講座は、8月1日(土)・2日(日)の2日間開催しました。広報誌等を通じて参加募集をしたところ16名の応募があり、うち8名は渥美農業高等学校の生徒の皆さんでした。



講義の様子

防災ボランティアグループVO

CS田原の皆さんが講師となり、自らの体験等を織り交ぜながら、1日目は大規模災害に臨む際の心構えや現場で必要となる書類作成等の講義、ロープワーク実技を学びました。2日目は、災害を想定して災害ボランティアセンター立上げ模擬訓練を行いました。



模擬訓練の様子

学んだばかりの防災ボランティアコーディネーター役を務める受講生は、本番さながらの真剣な様子でした。

2日間の終わりに、受講生全員に修了証と防災ベストが手渡されました。



防災ベスト